

のぞいてみよう！
荒尾市の未来

第6次荒尾市総合計画 概要版

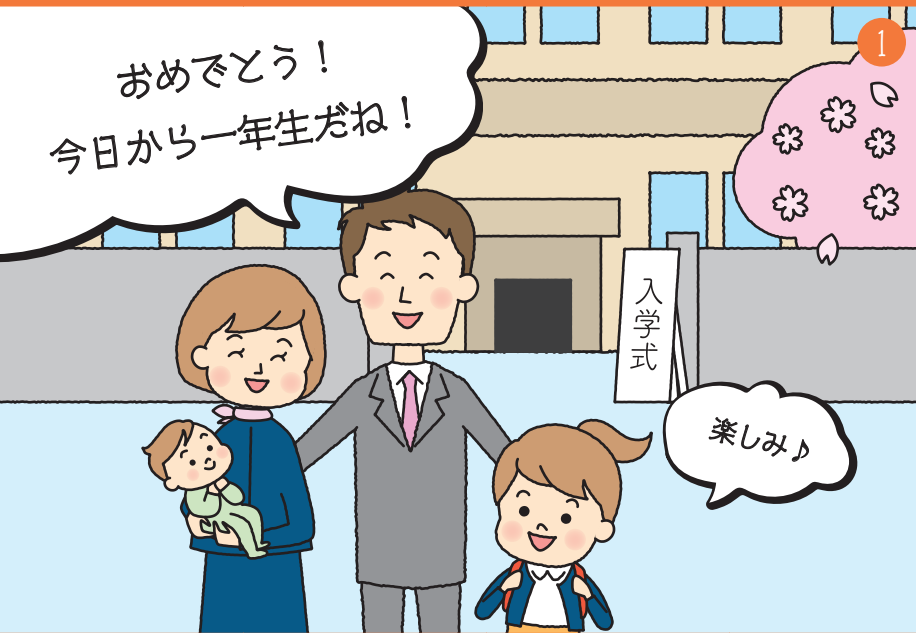


荒尾市 未来づくり BOOK

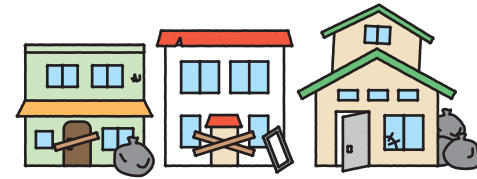
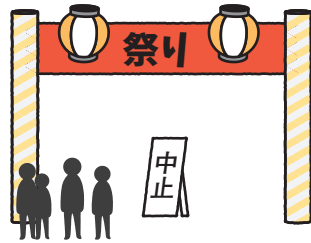


荒尾市

プロローグ



このまま人口が減っていくと、荒尾市はどうなるんだろう…



え!? 祭り
なくなったの?



まわりに
相談できる
同世代が
いない



お客さん
来ないし
閉めるしかないわ…

交通機能
の低下



一緒に
遊べる子ども
が少ない



もっとくわしく見ていこう

数字で見る荒尾市

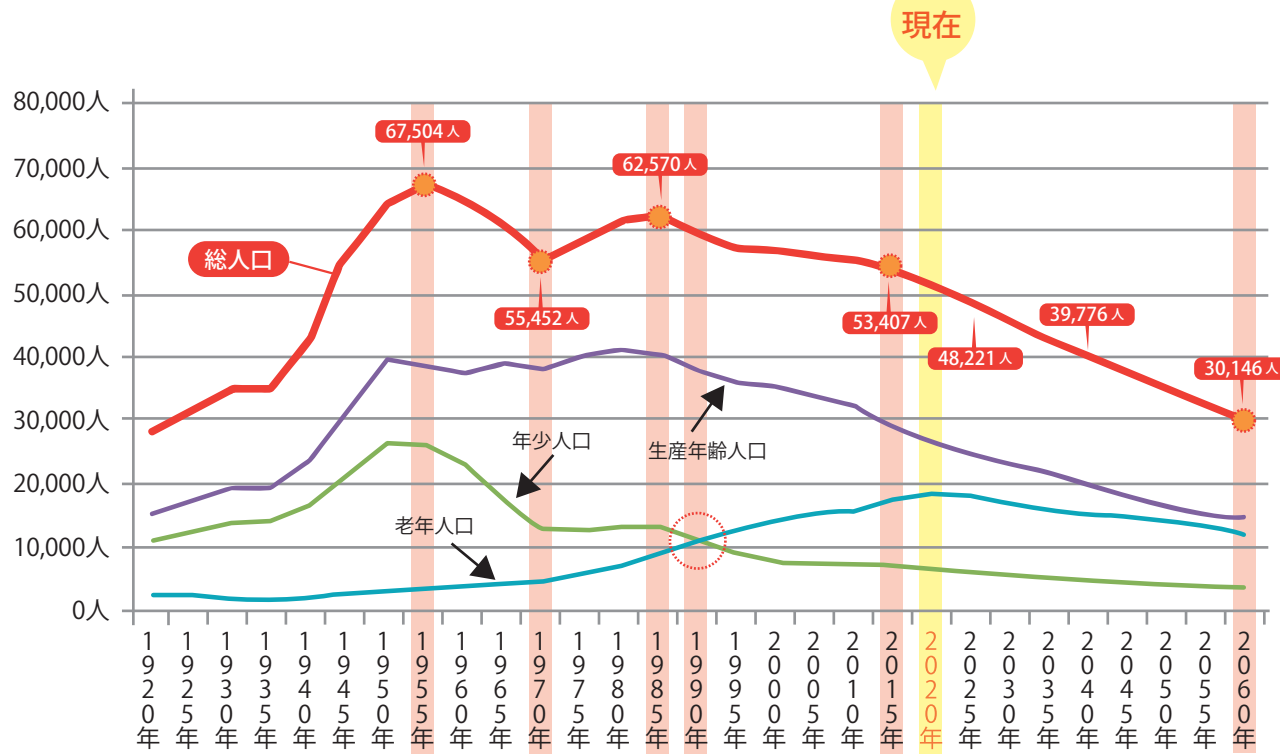
このままでは、
ずっと人口が
減り続けてしまうのね…



働く世代の
減り方が
特に大きいのは心配ね…



荒尾市の人口のこれまでとこれから



出典：2015年まで国勢調査、以降社人研推計

用語解説

年少人口

15歳未満の年齢の人口層

生産年齢人口

生産活動の中核をなす15歳以上
65歳未満の年齢の人口層

老年人口

65歳以上の年齢の人口層

解説

荒尾市の総人口は、1955年に67,504人まで増加した後、1970年にかけて55,452人まで減少しました。その後、ベッドタウン化の進行や近隣市町への企業進出も寄与して総人口は持ち直し、1985年には62,570人まで回復しました。

1980年代後半から1990年代前半のいわゆるバブル経済期に人口の減少が顕著となっており、以降、減少傾向が継続しています。また、同時期から、老年人口が年少人口を上回る状況となっています。

近年では、2015年の総人口が戦後最少の53,407人となっており、国立社会保障人口問題研究所（社人研）の推計によると、2060年には30,146人（2015年比▲43.6%）にまで減少することが予測されています。



合計特殊出生率は
荒尾市は
とても高いのね！



他にも、荒尾市の人口にまつわる数字を見てみましょう。
荒尾市の強み、弱みが見えてきますね！

若い世代の
転出超過が深刻に
なっているなあ…



1) 出生数の推移



▶出生数は年々減少が続いています。

2) 合計特殊出生率

※合計特殊出生率：
15～49歳までの
女性の年齢別出生
率を合計したもの



▶熊本県や全国と比較しても荒尾市の合計特殊出生率は高い水準にあります。

3) 男女別産業人口

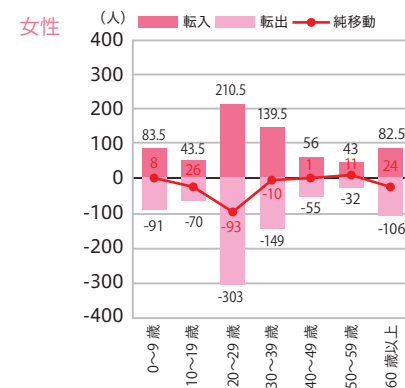
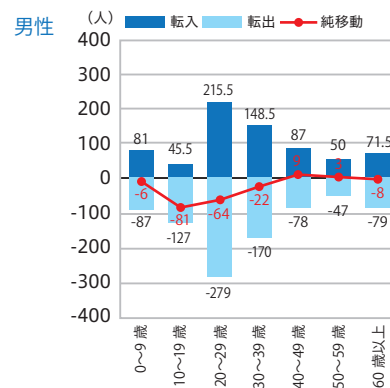


▶女性の職業は、医療福祉が圧倒的に多く、男性の職業は、製造業が最も多くなっています。

4) 転入・転出の状況



▶転出数が転入数を上回る転出超過の状態が深刻化しています。また、男女ともに、若い世代（特に20～29歳）の転出超過が多くなっています。



総務省人口動態及び世帯数調査（2016・2017年平均）

このような状況を踏まえ、人口減少を抑制し、市民の皆さんとともに活気あるまちをつくるため、まちづくりの最上位計画として、「第6次荒尾市総合計画」を策定しました！

総合計画策定への道のり

どのようなまちを

スタート

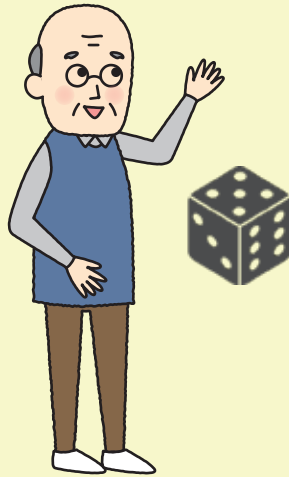
地区別ワークショップ



地区ごとに3回ずつ、延べ700人程のみなさまにご参加いただき、ワークショップを開催。地域で抱える「困りごと」を共有し、特性を活かした魅力ある地域づくりについて考えました。



未来の荒尾市を考えるいい機会でした。



ほとんどの地域で、地域活動における参加者の減少など「つながり」の希薄化や、役員のなり手不足といったコミュニティの持続性を懸念する意見が多く出されました。



地図や資料をもとに、自分たちの地域がどんな地域なのか、「魅力」や「課題」をディスカッション。ざっくばらんな意見が飛び交いました。

地区別ワークショップでの 主な意見

- 地域活動における参加者が減った
- 「つながり」が希薄化している
- 役員のなり手不足
- 空家・空地や公園などの管理
- 公共交通の利便性が悪い
- 買い物やゴミ出しなど高齢者の生活支援

などなど…



目指していくが考えよう！

荒尾未来づくり会議

まだまだ
続く



市内中学校及び高校に通う生徒を対象にワークショップ「荒尾未来づくり会議」を開催。参加者それぞれがもつ夢や目標を起点に、その実現のためにどんな荒尾市にしたいかを考えました。



自分が住むまちの
まちづくりに関わって
楽しかったです！



思いは
総合計画へ



自分と荒尾市の未来について思いを巡らせながら、にぎやかな雰囲気の中進んだワークショップ。荒尾市への愛着や誇りを育む貴重な機会となりました。



荒尾未来づくり会議での 主な意見

将来の夢や目標

- 旅行がしたい
(世界一周、宇宙、温泉など)
- 安定した仕事に就きたい
(薬剤師、助産師、教師、公務員など)
- 英語が話せるようになりたい

などなど…

どんなまちになってほしいか

- VRやARなどの先端技術が整ったまち
- 有名な先生がいて勉強しやすいまち
- 高校や大学が充実した学力が高いまち
- 交通機関が整っていて旅行しやすいまち

などなど…



わたしたちのまち 荒尾市の目指す未来

解説

令和7年度目標人口

51,000人

荒尾市は、まちの強みを生かしながら、先端技術の活用で人・モノ・情報が「つながり」、新たな価値を生み出す、暮らしの利便性が高いまち、そして人やコミュニティなどの「つながり」が充実した、暮らしの安心感が高いまちを目指します。

人がつながり 幸せをつくる 快適未来都市

Q

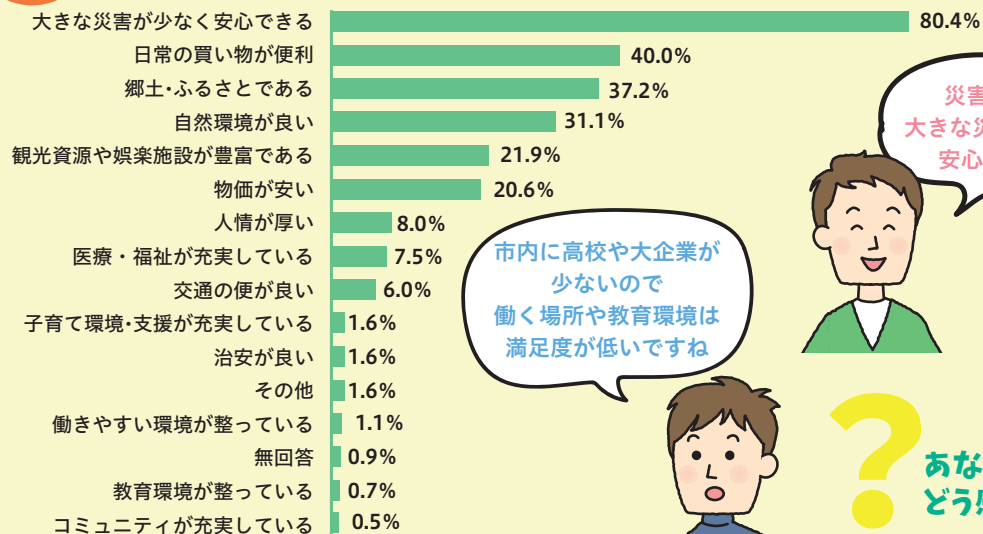
荒尾市の「強み」って何だろう？

A

災害の少なさや買物の利便性に関する評価が高くなっています！



まちづくりアンケート「荒尾市での暮らしに満足している理由」



市内に高校や大企業が少ないので働く場所や教育環境は満足度が低いですね

災害が多い現代、大きな災害が少ないのは安心できますね！

？ あなたはどう感じますか？

Q

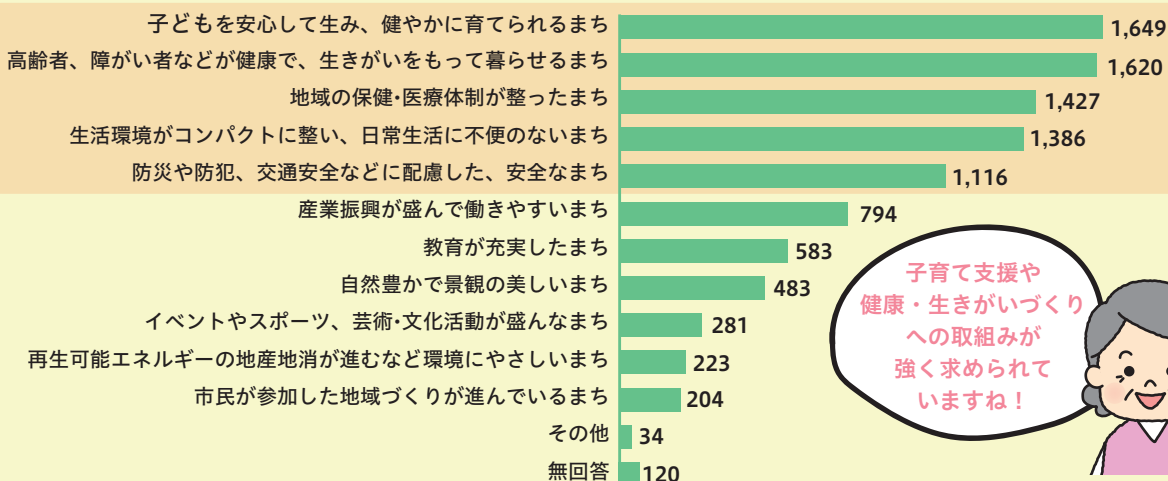
将来像の実現のため、どのようにまちづくりを進めていくの？

A

「まち」の魅力を高めながら、「ひと」と「しごと」を呼び込む戦略を進めます！



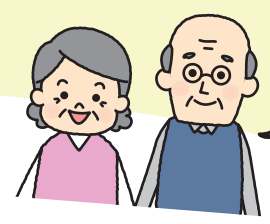
まちづくりアンケート「荒尾市が今後重点的に取り組むべきこと」



子育て支援や健康・生きがいづくりへの取り組みが強く求められていますね！



私たちのまちには
誇るべきものが
たくさんあるのね！

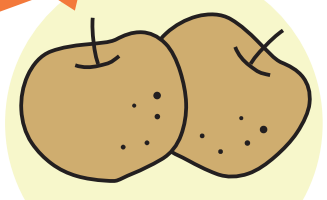


強みや誇りは、
荒尾市の未来に
活かせるね！

強み 誇り

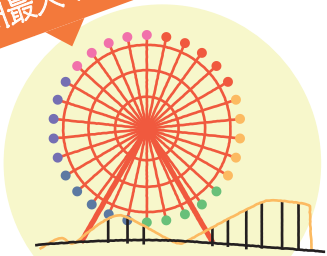
荒尾市の を見直そう

大きくて甘い！



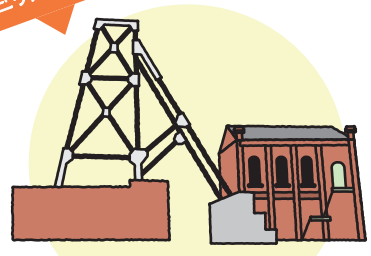
- 荒尾梨 -

九州最大の遊園地



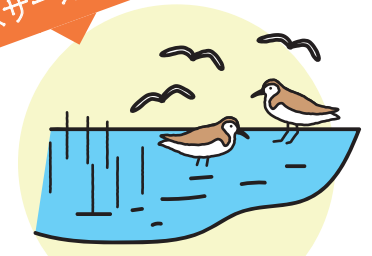
- グリーンランド -

世界遺産！



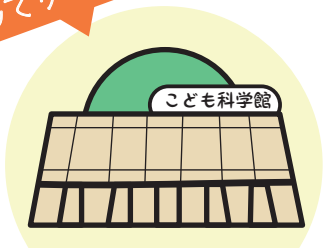
- 万田坑 -

ラムサール条約湿地



- 荒尾干潟 -

あらおキッズドーム
としてリニューアル



- こども科学館 -

近代日本の思想家



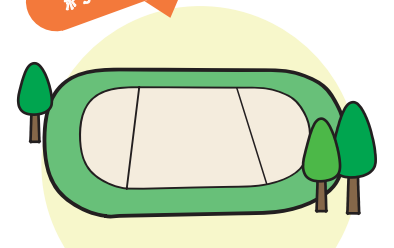
- 宮崎兄弟の生家 -

400年の歴史



- 小代焼 -

約9万坪の敷地



- 運動公園 -

他にもたくさん！
あなたが知っている
荒尾市の誇りを
書いてみよう！

MEMO

持続可能な
未来へむけての
もうひとつの視点

SDGs

SDGs って何だろう？

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

くわしくは
こちらへ



SDGs が目指す **17** の目標



荒尾市の
まちづくりは世界の
課題解決にもつながって
いるんですね！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



気になる戦略の内容は、次のページをチェック！





あらお未来
プロジェクト



切れ目のない 充実した子育て環境をつくる

ポイント

子育て世帯の 経済的負担の軽減

希望する子どもの数が実現できるよう、「荒尾子ども未来基金」も活用しながら、子どもの成長段階に合わせた経済的支援を行います！

安心して妊娠・出産・ 子育てができる環境の整備

妊娠・出産段階からの支援に加え、出産後も安心して子育てができるよう切れ目のない支援を行います！また、仕事と家庭を両立しやすい環境を整備します！

魅力ある教育環境の実現

ニーズに合わせた教育環境の整備を行うとともに、幼・保・小・中・高を通じて魅力ある人材育成を行うことで、子育てしたくなるまちを目指します！



1 若い世代の結婚希望の実現

結婚を希望しているにも関わらず、出会いの機会の不足や経済的な不安などにより実現できない人に対し、関係機関と連携したサポートを行い、希望の実現を図ります。

- 広域連携による結婚希望者等への支援

2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

希望する子どもの数の実現に向け、妊娠、出産に関する支援を行うとともに、出産後も安心して子育てをすることができるよう、ニーズに合わせた切れ目のない支援を行います。

- 母子保健事業の充実
- 援助を必要とする子どもや子育て家庭への支援

3 子育てしやすい環境づくり

子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、仕事と家庭を両立しやすい環境を整備することで、経済的・時間的にゆとりをもって子育てができるようにします。

- 子育て世帯の経済的負担の軽減
- ニーズに合わせた保育環境の整備



4 魅力ある教育環境の実現

子育てをする上で教育は重要な要素となっていることから、幼児教育から義務教育、高校教育まで、一貫して、ニーズに合わせた独自性の高い教育が提供できるよう、内容の充実と魅力の向上を図ります。

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 教育環境の整備・充実



あらお未来
プロジェクト

2

誰もがつながりを持ち、 健康でいきいきとした暮らしをつくる

ポイント

居場所と役割のある コミュニティづくり

年齢や性別、家庭環境や国籍などに関わらず、誰もが地域の中で居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合えるコミュニティの実現を目指します！

健康づくりの推進

健康意識の向上へ向けた取組みや健診の受診促進をはじめ、生きる上での基本となる健康づくりの取組みを推進し、健康長寿社会の実現と医療費の適正化を目指します！

いきいきとした 暮らしの実現

誰もが生きがいを持って、いきいきと充実した暮らしを送ることができるよう、生涯学習の推進に取り組みます！



1

健康長寿社会の実現

全ての世代において、疾病の予防対策や早期発見・早期治療により、健康長寿社会の実現を図るとともに、病気になっても安心して治療が受けられるよう、地域医療の充実を図ります。

- ライフステージに応じた疾病予防
- 食生活や運動習慣を基盤とした健康づくりの推進
- 地域医療の充実

2

地域共生社会の実現

高齢者や障がい者をはじめ、年齢や性別、家庭環境や国籍などに関わらず、誰もが地域の中で居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合うことができる社会の実現を目指します。

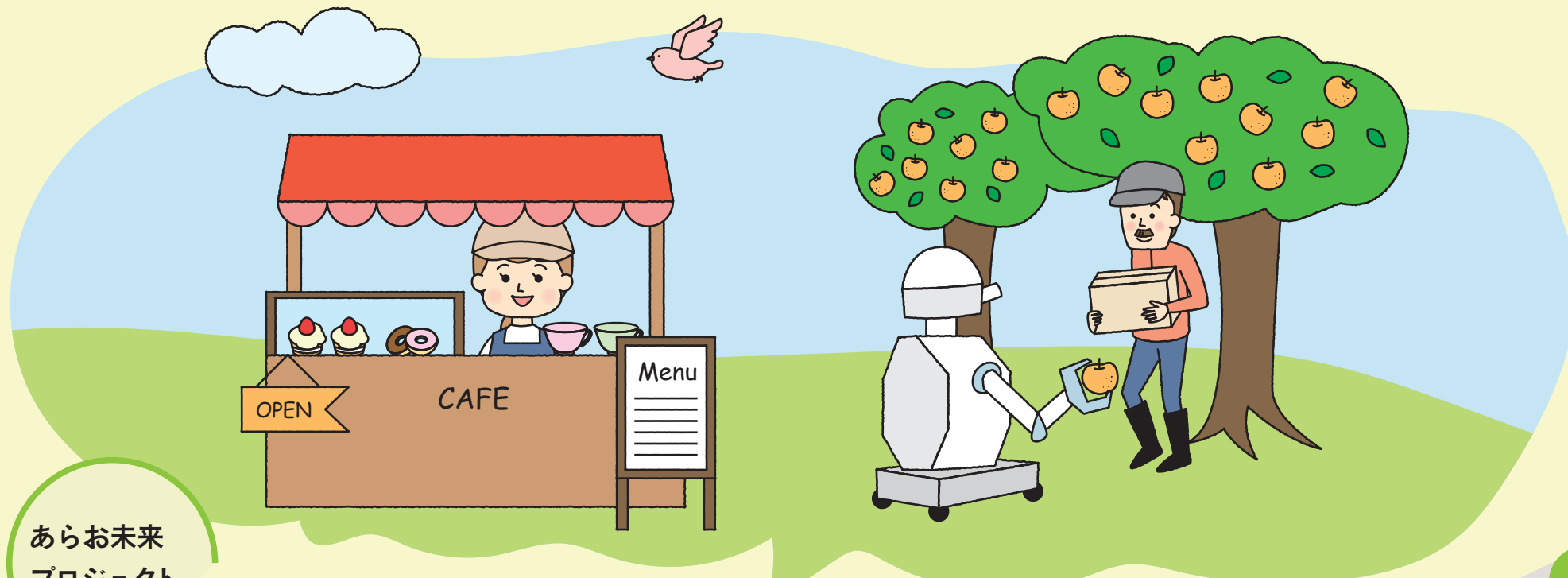
- 地域包括ケアシステムの推進
- 障がい者の社会参画の促進
- 社会的孤立の防止
- 多様性を尊重し支え合う地域づくり

3

生涯学習の推進

自己の教養の向上やその知識を活かした社会活動への参加、コミュニティにおける交流など生きがいを持って生活することでいきいきと充実した暮らしを送ることができるよう、生涯学習の環境整備や機会の充実を図ります。

- 多様な学習機会の提供
- スポーツ活動の推進
- 子どもたちとの交流を通じた学びの充実



あらお未来
プロジェクト

3

雇用の確保と所得の向上で 安定した暮らしをつくる

ポイント

安定した雇用の創出と 就職支援

企業立地の推進や創業支援などにより
市内に安定した雇用の場を創出すると
ともに、市内企業の認知度向上やニーズ
に合わせた就業支援により、地元就職
を促進します！

生産性向上や販路拡大 による所得の向上

先端技術による作業の自動化や熟練農
家の技術継承などの「スマート農業」
をはじめ、ICT や先端技術を活用した
生産性の向上を推進するとともに、高
付加価値化や、海外を含めた販路拡大
による所得向上を目指します！

地域経済循環の促進による 地域経済の活性化

エネルギーの地産地消をはじめ、新た
に整備する道の駅において、地場産品
の販売を行うことによる地産地消（地
産外消）を推進することで、地域経済
の活性化を目指します！



1 安定した雇用の創出と就職支援

広域的な通勤アクセスの利便性が高いという特性があるものの、居住地としての魅力をさらに高め、市外への転出超過を解消するため、市内に安定した雇用の場を確保するとともに、若い世代や高齢者、女性や障がい者など、あらゆる方が就職しやすい環境をつくります。

- 企業立地の推進
- 創業及び事業承継支援
- 地元（市内）就職の促進
- ニーズに合わせた就業支援

くわしくは
こちらへ



2 生産性向上や地域経済循環による所得の向上

人口減少が継続し人手不足が深刻化する中であっても、市内の総生産額を高め、所得の向上を図るため、地域産業の生産性向上や高付加価値化などに取り組むとともに、地域経済の域内循環を高めることで、地域経済の活性化を図ります。

- 地域産業の生産性向上
- 農漁業の成長産業化
- 地域経済循環の促進



あらお未来
プロジェクト

4

あらおファンを増やすとともに、 移住しやすい環境をつくる

ポイント

転入の促進に向けた 「あらおファン」づくり

荒尾市と継続的に多様な形で関わる「あらおファン」を増やし、それぞれの関わりを深めることで、荒尾市への好感度を高め、最終的に移住につなげることを目指します！

観光資源を活かした 「あらおファン」の拡大

「あらおファン」を増やすため、毎年約200万人の観光客が訪れる観光資源を活かした、効果的な情報発信を行います！また、観光資源のさらなる魅力向上を目指します！

移住に向けた 支援の強化

お試し暮らし体験住宅や空家バンクなどの住居面での支援を行うとともに、安心して移住後の生活を送ることができるよう、生活面や子育て面など幅広い相談に対応できる体制を整えます！



1 「あらおファン」の拡大

荒尾市の強みである観光資源を活用したプロモーションを行うことで交流人口の増加を図り、荒尾市に関心を持つ人を増やすとともに、荒尾市と継続的に多様な形での関わりを持つ「あらおファン」を増やし、それぞれのライフステージに合わせた情報発信を行うことで、荒尾市への移住を検討する契機とします。

- 荒尾市への関心と好感度の向上
- 観光地域づくりの推進
- インバウンド観光の推進
- 都市農村交流

2 荒尾市への移住の促進

福岡都市圏や熊本都市圏の中間にある地理的優位性や、充実した公共交通や道路ネットワークによる通勤・通学のしやすさ、災害の少なさなど、荒尾市の「暮らしやすさ」を最大限に生かしながら、移住しやすい環境を整備することで、荒尾市への転入者の増加を図ります。

- 二地域居住や住み替えの支援
- 移住促進へ向けた関係深化

くわしくは
こちらへ ▶





あらお未来
プロジェクト

5

先進的で 持続可能なまちをつくる

ポイント

利便性の高い 公共交通体系の構築

高齢者や学生などの移動手段を確保するため、先端技術も活用しながら、持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築を目指します！

美しい街並みづくりと 住環境の形成

空家や空地の適正管理を促すとともに、花の植栽などをはじめとした美しい街並みづくりを推進することで、住環境の向上を目指します！

環境に配慮した 取組みの推進

再生可能エネルギーの活用やごみの減量化・資源化など、環境への負荷を軽減する取組みを推進し、持続可能な循環型社会の形成を目指します！

災害等に強い まちづくり

防犯体制や地域防災力の強化、インフラ整備などにより、さらに安心して生活できるまちづくりを推進します！



1 暮らしやすいまちの基盤の構築

商業や医療、福祉などの生活に必要な機能を持続的に確保するとともに、市全体のネットワーク化や地域コミュニティの充実などにより、利便性の高い上質な暮らしができるよう、まちの基盤を構築します。

2 持続可能な循環型社会の形成

太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの利用促進などにより二酸化炭素の排出抑制を図るとともに、ごみの減少化や資源化の推進などにより、持続可能な循環型社会の形成を図ります。

3 災害等に強いまちづくり

全国的に災害が多発する中でも、安心して生活できるようにするため、防犯や防災に関する取り組みやインフラ整備を通じたまちの強靭化を図ります。

● コンパクトシティの推進と道路ネットワークの形成

● スマートシティの推進 具体的な内容は次ページで紹介！

● 地域コミュニティの充実・活性化

● 持続可能な交通ネットワークの形成と公共交通の活性化

● 美しい街並みと住環境の形成

● 脱炭素社会の実現

● 循環型社会の形成

● 荒尾干潟の保全

● 防犯防災対策

● インフラ整備などによるまちの強靭化

NEW!!

荒尾市は、全国に先駆けて、

スマートシティの実現を目指します！

スマートシティモデル事業とは？

国土交通省において、新技術や官民データを活用しつつ地域課題を解決する「スマートシティモデル事業」が公募され、事業の熟度が高く、全国の牽引役となる先駆的な取り組みを行う「先行モデルプロジェクト」と、国が重点的に支援を実施することで事業の熟度を高め、早期の事業化を促進していく「重点事業化促進プロジェクト」を選定されたものです。荒尾市では、「あらおスマートシティ推進協議会」において提案を行い、重点事業化促進プロジェクトの対象に選ばれました。

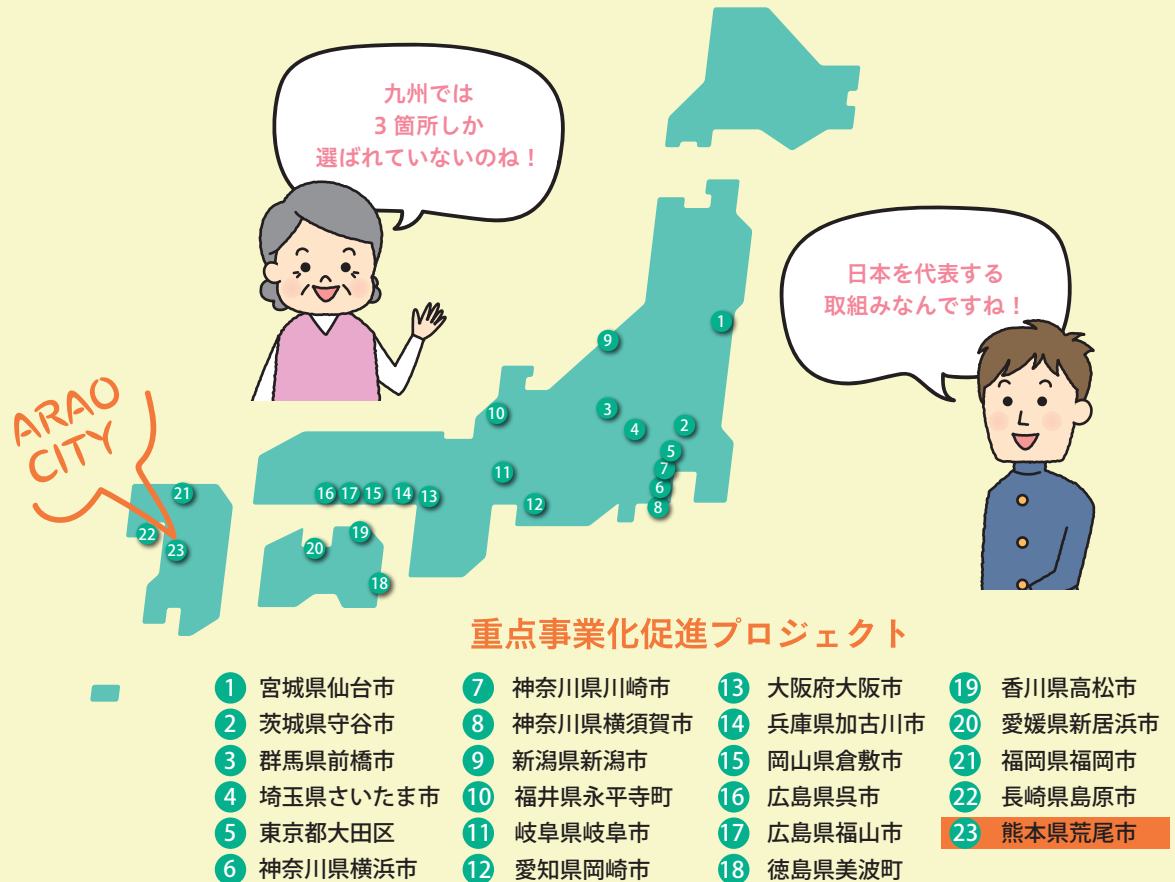
【あらおスマートシティ推進協議会】

荒尾市、JTB 総合研究所、グローバルエンジニアリング、三井物産、有明エナジー、UR 都市機構

●アドバイザー会員：東京大学大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT 研究センター、東北大学 COI 東北拠点

●サポート会員：ITID、アーサー・ディ・リトル・ジャパン

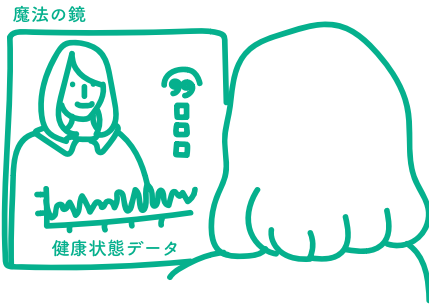
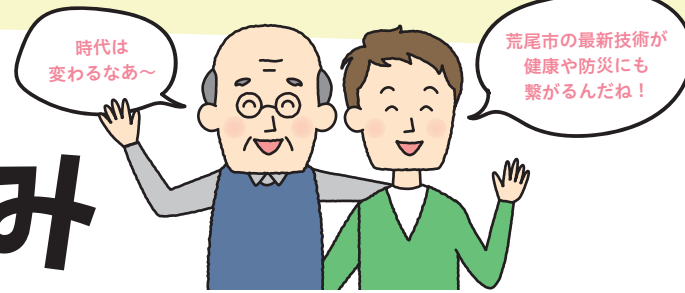
くわしくは
こちらへ





スマートシティ実現に向けた

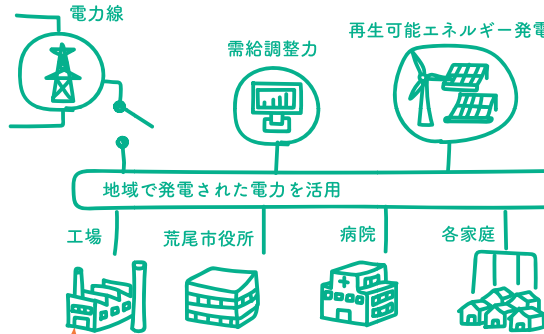
具体的な取組み



取組み
1

さりげないセンシングと日常人間ドック

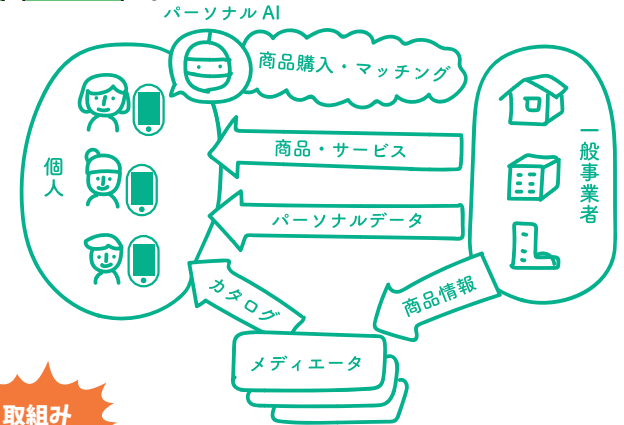
鏡の前に立つだけで健康状態が分かる「魔法の鏡」など、センシング技術を活用して、日常生活の中で、いつでも、どこにいても、自分や家族の生活や健康状態がわかるシステムを実装します。自分や家族の健康状態を予測・管理でき、将来の不安を感じることなく暮らすことができる社会を実現します。



取組み
2

石炭のまちから新しいエネルギーのまちへ

太陽光発電など豊富な再生可能エネルギー資源の地産地消と、蓄電池や電気自動車（EV）を活用した環境にやさしく、災害に強いまちを実現します。また、オンデマンド相乗りタクシーやシェアリング型電動キックボード、自動運転循環バス等による、あらゆる人が快適に移動できるまちを実現します。



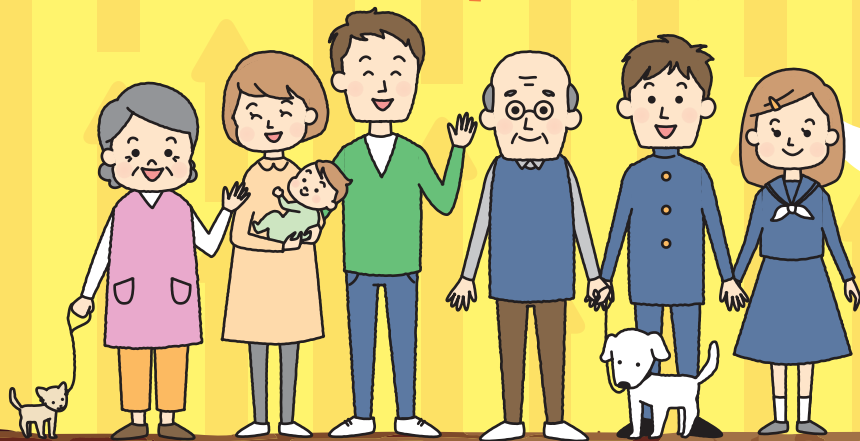
取組み
3

パーソナルデータエコシステム

事業者が集中管理している個人情報を、個人が管理する分散型の仕組みを導入することにより、より安全に管理・活用できる仕組みを構築します。本人の意思だけで、それらのデータを様々な目的で簡単に使うことができ、より個人のニーズに合ったサービスを受けることができるまちを実現します。



エピローグ
荒尾市の未来を
一緒に作りましょう！



身近にできることは意外とたくさん！

- 広報や HP で荒尾市の取組みを知る
- 荒尾市の良いところを PR（発信）してみる
- 地域の人とあいさつを交わす
- 祭りなど地域の行事に参加する
- 道ばたのゴミを拾う …etc

荒尾市の未来のために私たちにできること

MEMO

何ができるか、家庭で、学校で、地域で、話し合っって自由に記入してみよう！

荒尾市の取組みについて
詳しくは HP をチェック

